



令和2年3月31日  
東京都立蒲田高等学校長

## 令和元年度 東京都立蒲田高等学校 学校経営報告

### 1 今年度の取組目標等に関する自己評価

#### (1) 教育活動への取組と自己評価

ア 学習指導においては、東京都教育委員会「アクティブ・ラーニング推進校」指定最終年度取組として、校内相互授業参観週間を中心に協議会、全都向公開授業及び研究協議会を開催して、カリキュラムマネジメントの視点から各教科横断型の学習到達目標を設定し、主体的・対話的でかつ深い学びの実践を意図することにより、生徒の学ぶ意欲を育成し、主体的に参加する態度を育ててきた。

一学年での一部 30 分短時間集中授業と反復学習を活用して効果的に学習意欲を引き出し、ICT機器を積極的に活用するなど、視覚的な学習指導を推進した。また、小テストをきめ細かく実施し、評価においては、確認テストによる知識量や理解度のみならず、学習の過程を重視した評価を行った。

イ 進路指導においては、進路情報の積極的発信に心掛け、大学での教員向け説明会記録やオープンキャンパス情報のフロアボード掲示を進めた。従前の取組である3年間を見通した進路指導に取り組み、社会的・職業的自立支援教育プログラムの活用やNPO等との連携を含め、あらゆる場面を活用して、生徒の個性・特性・適性・能力を把握し、その伸長に努め、生徒の多様な進路希望の実現を重視した指導を行った。

学力診断テスト等、外部模試により生徒の学力を把握するとともに、生徒にフィードバックして家庭学習の動機づけとしても活用を図った。

ウ 生活指導においては、段階的指導を継続し、社会人として身に付けさせる規律、規範の目標について取組を推進し、遅刻防止週間などにより指導している。

人権教育を基軸とした生活指導を推進し、特にいじめの未然防止に努め、また、校内美化・校内リサイクル運動の学校全体での取組を実践した。

エ 特別活動・部活動においては、東京都教育委員会「パワーアップスクール」指定制度を活用し、生徒の体力・気力を向上させるとともに、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感等を育成することにより、特別活動の充実を重視した。部活動においては、美術部生徒が「第43回全国高等学校総合文化祭（美術・工芸部門）」に東京都を代表して参加し、全国規模の大会出場を果たした。

また、複数年にわたり地域との連携を率先して行ってきた生徒会活動が認められ「東京都教育委員会児童・生徒表彰」の団体表彰や、部活動の実績が認められ「大田区青少年表彰」の個人表彰を前年度に引き続き受賞するなど、生徒の自信や社会性の向上に大きく寄与した。

オ 健康づくりにおいては、特別支援教育の理解に努め、共感的理解と受容的態度を基本とした生徒理解の充実を目指し、情報交換会や校内研修を定期的で開催してきた。特に「障害への理解を深め、支援が必要な生徒に対して教育支援委員会を中心に組織的な対応を図った。

カ 募集・広報活動においては、生徒・教職員ともに地域活動へ参加し、ホームページの更新頻度を高め、新たなホームページの運用も開始した。学校パンフレットは、デザイン

性と躍動感あるものに刷新した。また、学校見学会や学校説明会の中学生及び保護者からの申込みにあたっては、「電子申請連携システム」に移行し、24時間体制での受付を可能にした。

## (2) 重点目標への取組と自己評価

エンカレッジスクールとして蓄積を踏まえて、本校の特色を明確にする取り組みとして、①一学年一部時間帯の30分授業、習熟度別授業、少人数授業等により、基礎・基本を定着させる。②学習内容や指導法を研究し、わかる授業を目指し、達成感・成就感を生徒に持たせる。③生活指導での「段階指導」に学校全体で取り組み、ルールを守る態度を育て、社会性と規範意識を育む。④体験学習・宿泊体験研修を充実させ、関係自治体・NPO法人・市民講師との連携を深め特色ある教育活動を堅持する。⑤外部機関との連携を深めながら学校教育相談体制を充実し、特別支援教育への理解を深めることで生徒の特性に適切かつ組織的に対応する。⑥地域活動に積極的に参加し、地域に生徒が貢献する学校づくりを目指す。⑦体験学習等を通して職業観や勤労観を育て、地域社会の一員であることの意識を高める。⑧学習活動、体験学習、部活動等の様々な機会を通して、各種検定資格の取得を推進する。⑨学校行事、ホームルーム活動、委員会活動、部活動等に積極的に取り組ませ、コミュニケーション能力を高めるとともに生徒に自信を持たせる。⑩心と体の健康づくりを推進することにより健全育成を図る取組を継続した。

生徒・保護者・教職員による学校評価を受け、数値上の改善項目として、「授業の分かりやすさ」、「きめ細かく手厚い学習指導」、「授業規律と学習環境」、「情報提供や進路ガイダンス等の充実」、「生徒の個性・適性に応じた進路指導」、「進路未決定率を減らす取り組み」、「段階指導取り組み」、「学校生活」、「学校行事」、「面談週間の設定、1学年人担任制、養護教諭の二人体制など、心のケア」の各項目について、前年度評価を上回った。唯一、「美化・清掃等による学習環境整備」は3.7%の減少である。各教室や更衣室等の美化を充実させ、学習環境の向上に取り組む。

また、入試・募集活動全般の課題は学校運営の根幹であり、今後も継続的に設置者と協議を進めていく。

### ア 学習指導

- ・「授業の分かりやすさ」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値87.0% (85.7%)  
【生徒78.9% (81.3%)・保護者88.0% (86.3%)・教職員94.0% (87.5%)】
- ・「きめ細かく手厚い学習指導」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値81.4% (79.0%)  
【生徒76.3% (73.6%)・保護者79.9% (80.1%)・教職員88.0% (83.3%)】
- ・「授業規律と学習環境」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値66.4% (61.9%)  
【生徒60.7% (58.4%)・保護者72.4% (71.0%)・教職員66.0% (56.3%)】

### イ 進路指導

- ・「情報提供や進路ガイダンス等の充実」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値80.6% (74.3%)  
【生徒70.6% (71.5%)・保護者73.2% (70.1%)・教職員98.0% (81.3%)】
- ・「生徒の個性・適性に応じた進路指導」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値83.4% (74.9%)  
【生徒71.2% (68.0%)・保護者81.1% (73.4%)・教職員98.0% (83.3%)】
- ・「進路未決定率を減らす取り組み」に対する肯定的意見 改善  
学校評価における肯定的評価平均値79.2% (71.5%)  
【生徒70.0% (68.9%)・保護者73.6% (70.5%)・教職員94.0% (75.0%)】

## ウ 生活指導・特別活動・部活動

- ・「段階指導取り組み」に対する肯定的意見 **改善**  
学校評価における肯定的評価平均値78.8% (72.6%)  
【生徒68.8% (60.9%) ・保護者75.7% (77.6%) ・教職員92.0% (79.2%) 】
- ・「学校生活」に対する肯定的意見 **改善**  
学校評価における肯定的評価平均値77.2% (70.8%)  
【生徒67.2% (63.5%) ・保護者80.5% (75.3%) ・教職員84.0% (72.9%) 】
- ・「学校行事」に対する肯定的意見 **改善**  
学校評価における肯定的評価平均値81.9% (79.8%)  
【生徒74.5% (72.5%) ・保護者87.1% (83.8%) ・教職員84.0% (83.0%) 】

## エ 美化・健康づくり

- ・「美化・清掃等による学習環境整備」に対する肯定的意見 **課題**  
学校評価における肯定的評価平均値71.3% (75.0%)  
【生徒62.0% (66.1%) ・保護者83.9% (82.2%) ・教職員68.0% (77.1%) 】
- ・「面談週間の設定、1学年人担任制、養護教諭の二人体制など、心のケア」に対する肯定的意見 **改善**  
学校評価における肯定的評価平均値79.6% (73.5%)  
【生徒70.2% (69.3%) ・保護者78.5% (78.8%) ・教職員90.0% (72.3%) 】

## オ 入試・募集・広報活動・学校生活に対する満足感

- ・入学者選抜応募倍率（推薦） **改善**  
【男子2.33倍 (1.50倍) ・女子1.77倍 (1.29倍) 】
- ・入学者選抜応募倍率（分割前期） **課題**  
【男子1.69倍 (0.88倍) ・女子0.69倍 (0.63倍) 】
- ・入学者選抜応募倍率（分割後期） **課題**  
【0.83倍 (0.13倍) 】
- ・東京都中学校校長会進学対策委員会の志望倍率 **課題**  
【男子1.38倍 (0.87倍) ・女子0.75倍 (0.61倍) 】
- ・学校見学会、学校説明会、個別相談会の自校実施  
【13回 (13回) 】
- ・転退学者率 **課題**  
【9.3% (7.8%)】 退学者 5.8% (5.1%)、転学者 3.5% (2.7%)
- ・進路決定率 **課題**  
【95.3% (96.0%)】

## 2 翌年度以降の課題と改善策

### (1) 学習指導

平成29年度より、基本的な生活習慣の確立、学び直しの機会による基礎学力の向上を目指し、全学年において「朝学習」（学校設定教科・科目「社会教養」）に取り組み、今年度で実施3年を迎えた。新学習指導要領に基づく新教育課程編成導入に向けて、生徒・教職員対象のアンケート調査から成果検証を行い、新課程においては朝学習のみ内容を見直して継続することにした。また、年間学習指導計画に付加する「カリキュラムマップ」を作成し、カリキュラムマネジメントの視点から学習成果の可視化に努めた。

### (2) 進路指導

3学年生徒の進路決定率は94.0%であった。内訳は、四年制大学11.4%、短期大学1.3%、専門学校40.3%、就職28.9%、進学準備12.1%、未定6.0%である。昨年度の同時期進路決定率が96.0%であったことから、若干の減少となっている。本年は専門学校への進路決定が大幅に増加しており、将来の職業を見据えた指導を段階的かつ計画的に進める必要が高く、次年度の重要課題として位置付ける。四年制大学は、入学定員の厳格化がなされ中

堅校の志願者が軒並み上昇し、今後も厳しい状況が予想される。基礎学力はともより、コミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力等の意図的・計画的な育成に努めていく。

### (3) 生活指導・学校生活

#### ア 学校行事

新入生は従前の「民泊宿泊体験研修」に代えて「遠足」を5月に実施し、学級の親睦を深め、帰属意識を高める取組を試行した。その結果、95%の生徒から肯定的意見を得たため、次年度も同様に実施して学校生活満足度の一層の向上に努める。また、2学年の「民泊宿泊体験研修」は「宿泊体験研修（修学旅行に準ずるもの）」と位置付け、2泊3日を標準とし、実施内容の改善に努めていく。

#### イ 部活動

運動系部活動15部、文化系部活動8部、同好会3部を設置している。部活動加入と活動状況は低迷しており、次年度は一部休止せざるを得ない部活動も生じる。今後も指導力のある教員の配置や外部指導員については、都教育委員会との折衝を進めていく。

### (4) 組織体制

主幹教諭を自校で育成し、学校経営課題に対する指揮系統を明確にしつつ、迅速かつ組織的な対応を図る。教員の働き方改革の視点を踏まえ、校内組織体制と業務の見直しに引き続き努めていく。